

往きし日の面影

[1955]市制施行以前



[昭和]



30年

往きし日の面影

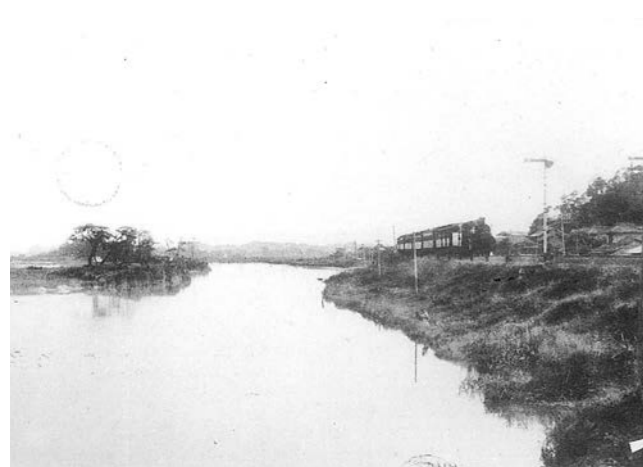
市制施行以前
[-1955]



磯原海岸に祀られる天妃神社



平潟の海岸通り



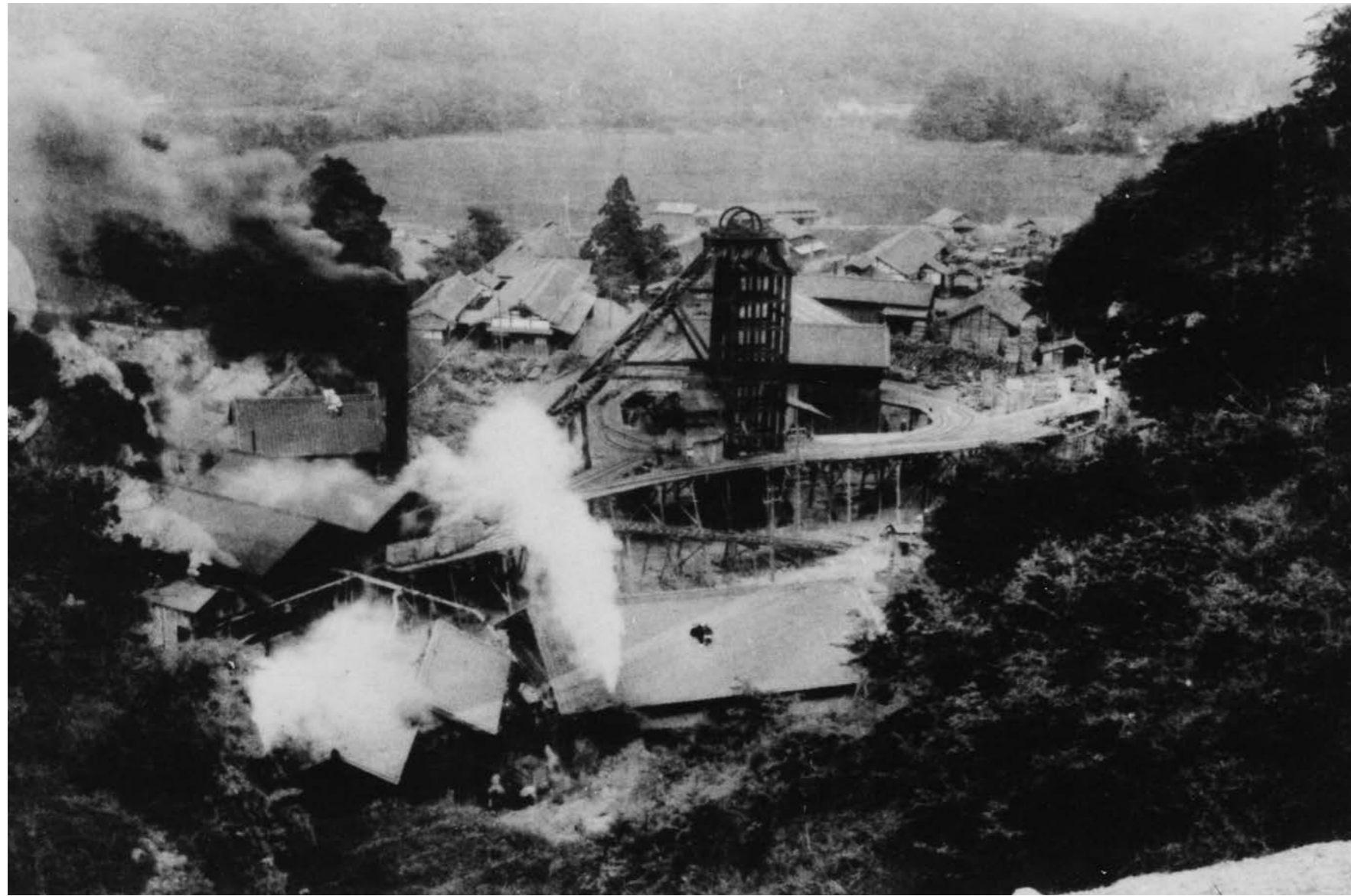
大北川の眺め。常磐線が並走する



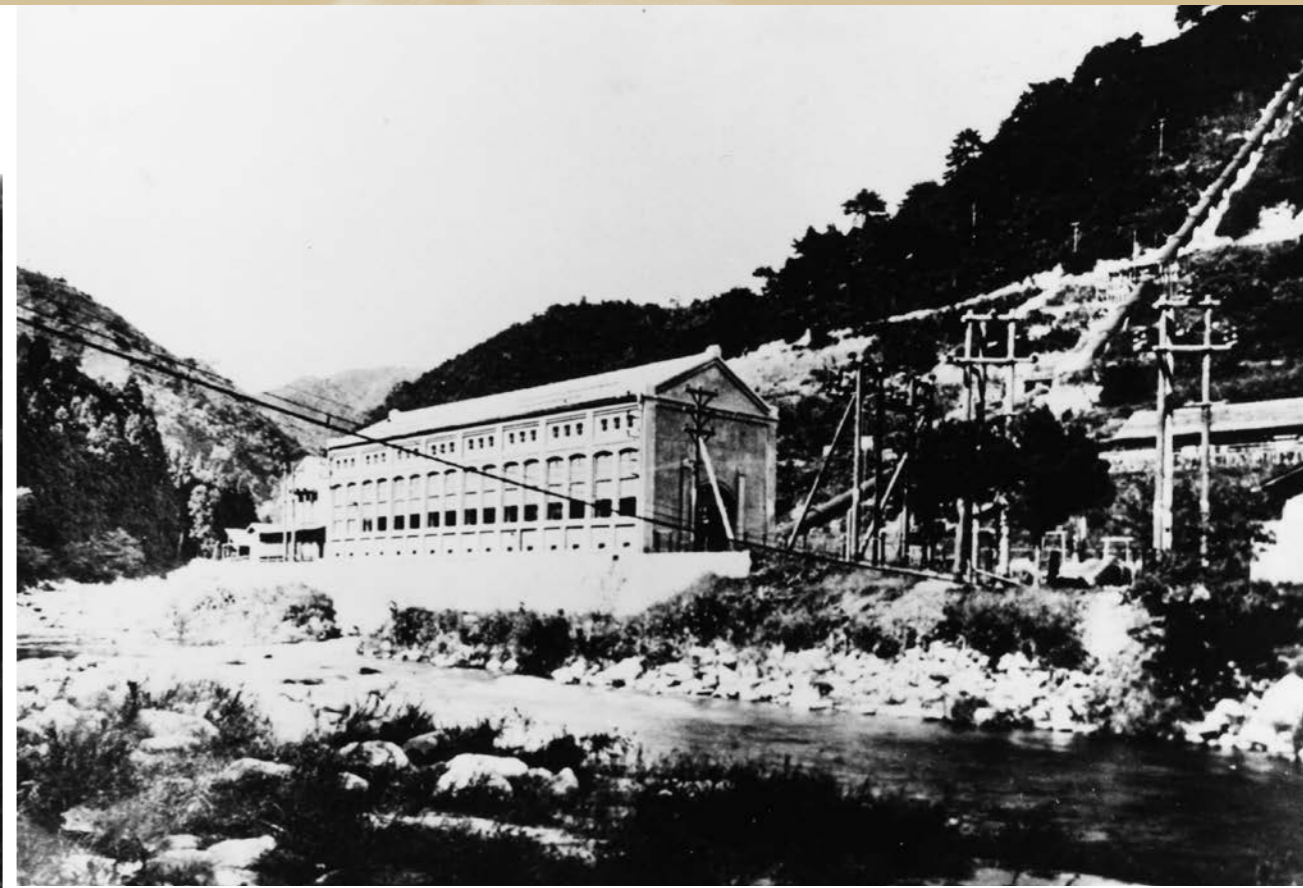
大津町の海沿いに広がる家並み



「末の松波」と呼ばれた街道の松並木（現在の国道6号、下桜井付近）



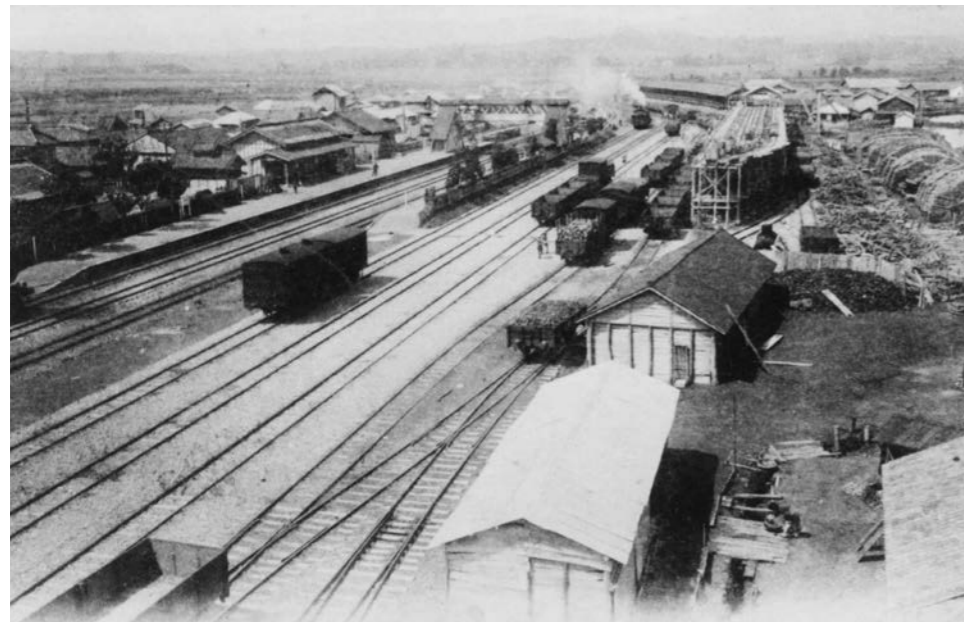
茨城無煙炭鉱の第1坑



石岡第一発電所は、日立鉱山へ電力を送るために建設された鉄筋コンクリート造りの水力発電所（明治44年）



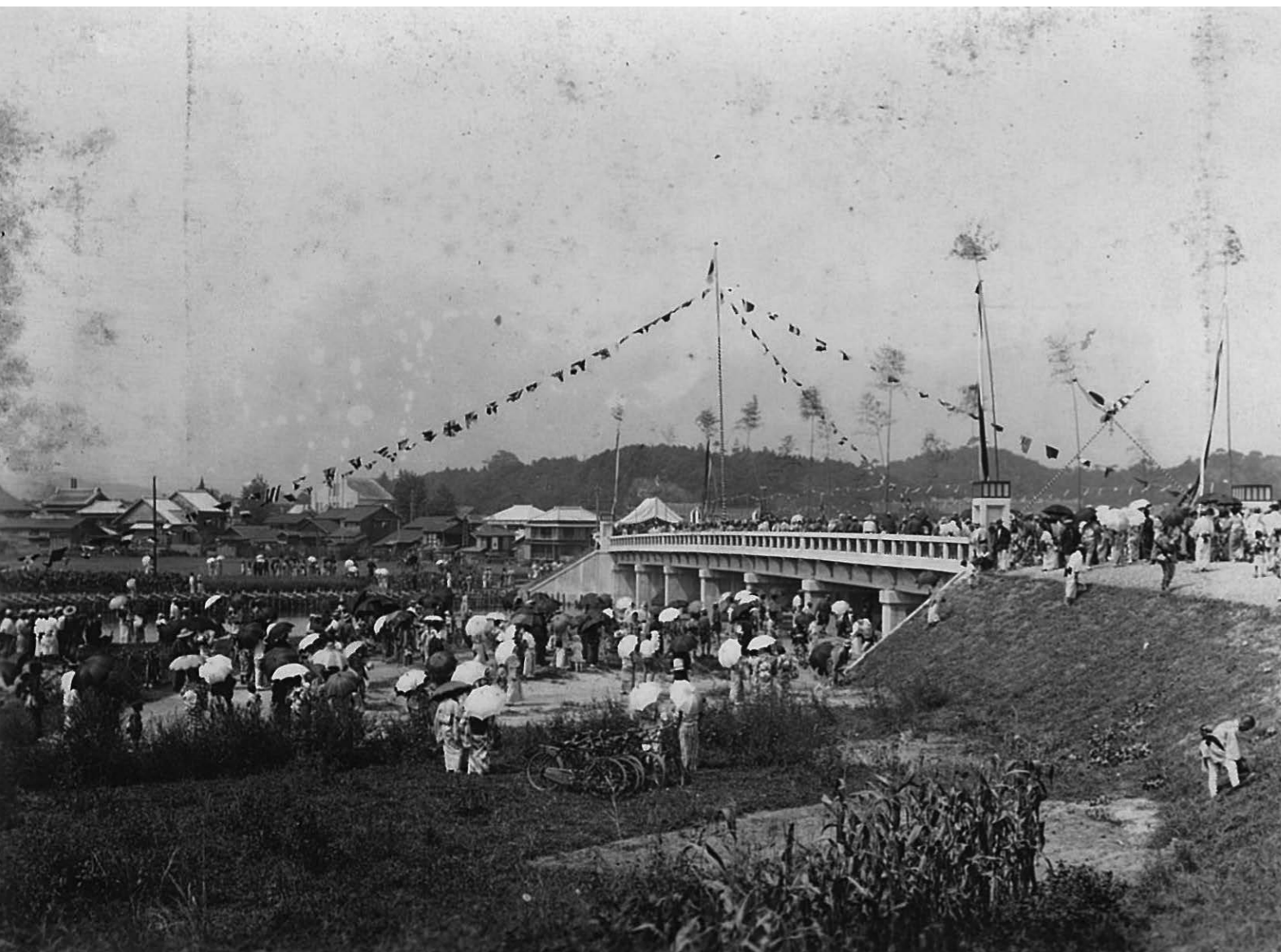
茨城採炭の磯原駅石炭積み込み場



大正期の磯原駅構内全景



酒井醸造家の主人と杜氏たち（大正10年頃）



国道6号に大北橋が完成し、式典が開かれた（昭和5年）



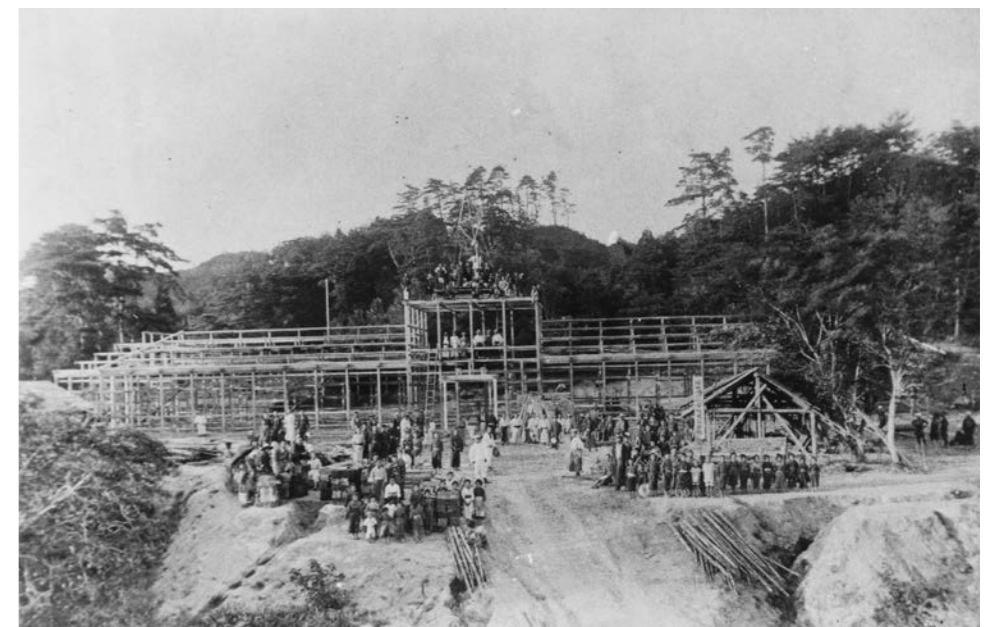
大津西町での葬儀風景（昭和5年）



里根川河口での鵜飼風景（大正7年頃）



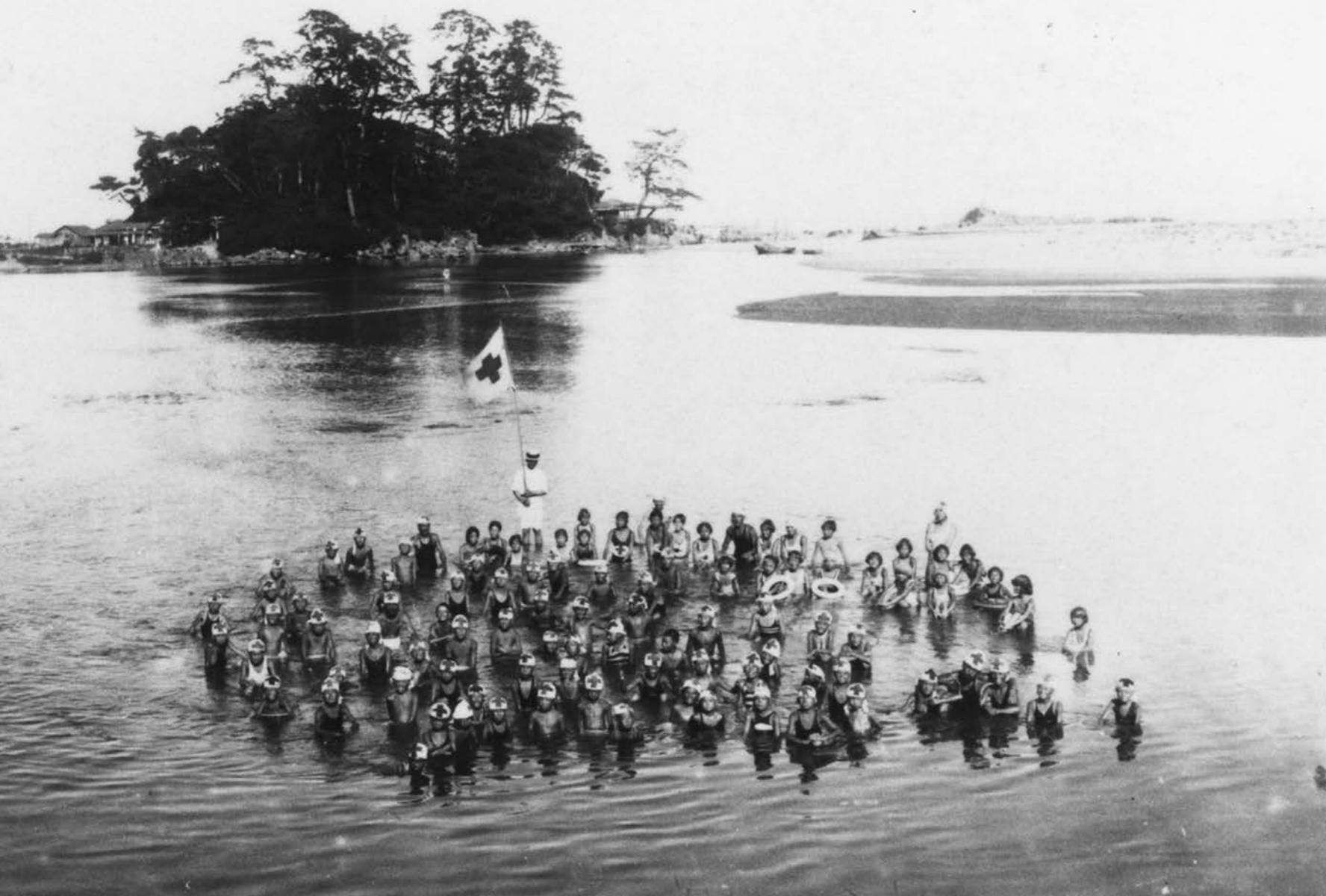
関本町で行われた天然氷の切り取り風景（明治43年頃）



福田小学校（関本第一小学校）の上棟式（明治40年）

往きし日の面影

市制施行以前
[-1955]



磯原夏季児童保養所の児童海水浴（日赤県支部提供、昭和2年）



磯原海水浴場



多賀郡中妻尋常小学校卒業式での集合写真（昭和15年頃）



大津町立水産学校卒業写真（明治39年）



南中郷村役場（昭和17年）

往きし日の面影

市制施行以前
[-1955]



遠足で六角堂を訪れた中妻小学校の児童（昭和25年頃）



関南小学校3年生の集合写真（昭和25年頃）



関本中学校の運動会（昭和26年頃）



大津空襲で被害を受けた住宅地
（昭和20年）

北茨城市誕生 [1956-1965]



北茨城市の合併当時の人口は6万人を超え、県内でも4番目の人口規模を誇る大きな市として誕生しました。

この昭和30年代は道路や学校、住宅など、新しい市として市民生活の基盤となるインフラの整備が重点的に進められました。

産業は、主に西部山間地は炭鉱と林業、中間地域は農業、東部海岸地域は水産業や商工業が行われていました。特に炭鉱は盛んであり、大小20もの会社が操業し、固定資産税をはじめとする市税収入が歳入の50%を占めるほどでした。

しかし、当時の基幹産業だった炭鉱は、「石炭から石油へ」のエネルギー革命の進展により、徐々に衰退への道を転がり始めていました。そのため、市では新たな産業の創出による産業構造の転換を迫られていくこととなります。

[昭和] 31年 → 40年



合併により議員数125人となった市議会。磯原高校にて（昭和31年）



合併当時の磯原駅西地区の家並み（昭和31年）



昭和32年当時の北茨城市庁舎

北茨城市政だより 昭和31年5月20日発行

北茨城市政だより

発行所 北茨城市役所
発行編集人 秘書課長 長瀬昇

御挨拶

北茨城市長 片寄富七

不肖私は今般市民の支持によりまして市長に当選させていただきました。市長に当選されたことは、私に多大の責任と使命を課せられたことと、同時にその責任の重大なことを痛感するものであります。此の使命を遂げ、市民の生活を安定させ、六万市民の生活を向上せしめ、その生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。また、私の政治的試金石でもある、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。また、私の政治的試金石でもある、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。

発刊を祝う

幾多の曲折を経て、ついにこの日がやってきました。北茨城市政だよりの発刊は、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。また、私の政治的試金石でもある、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。

発刊に際して

北茨城市政だよりの発刊は、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。また、私の政治的試金石でもある、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。

支所における

支所（各町村役場）において、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。また、私の政治的試金石でもある、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。

支所における

支所（各町村役場）において、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。また、私の政治的試金石でもある、市民の生活を豊かにすること、これが私の最大の使命であります。



市議会定例会で答弁する片寄市長（昭和36年頃）



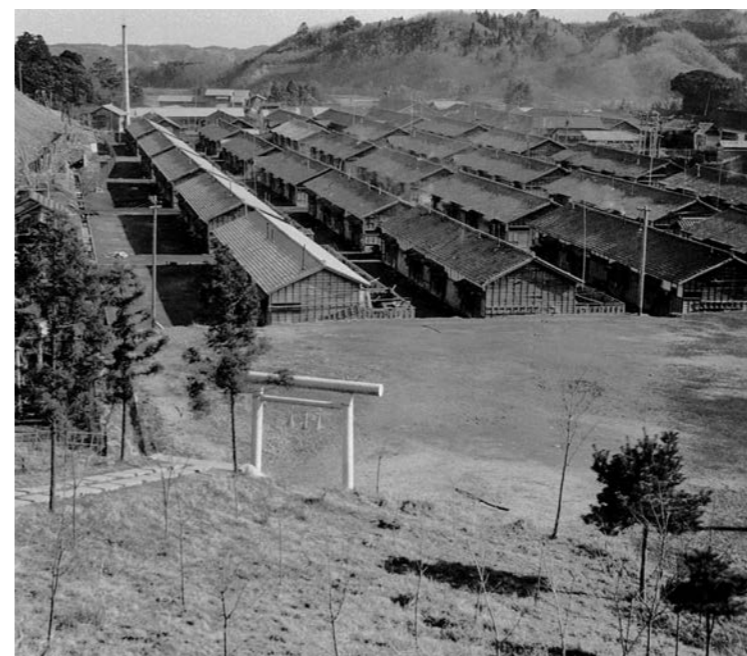
豊田實市長が初登庁（昭和39年）



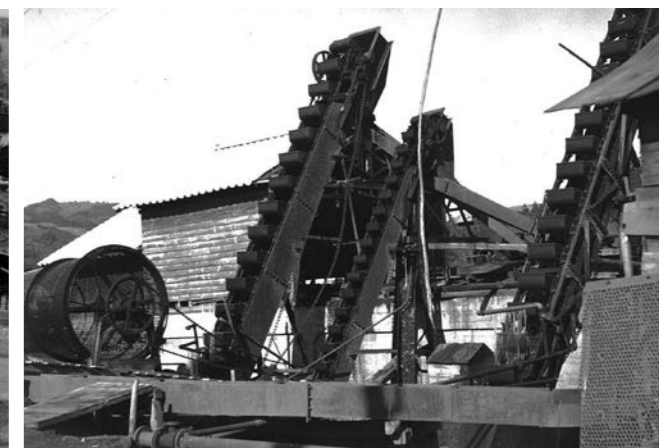
炭鉱内部で石炭の掘削作業に従事する作業員たち（昭和30年代）



昭和30年代の炭鉱風景



炭鉱全盛期の常磐炭鉱神ノ山社宅（昭和30年代）



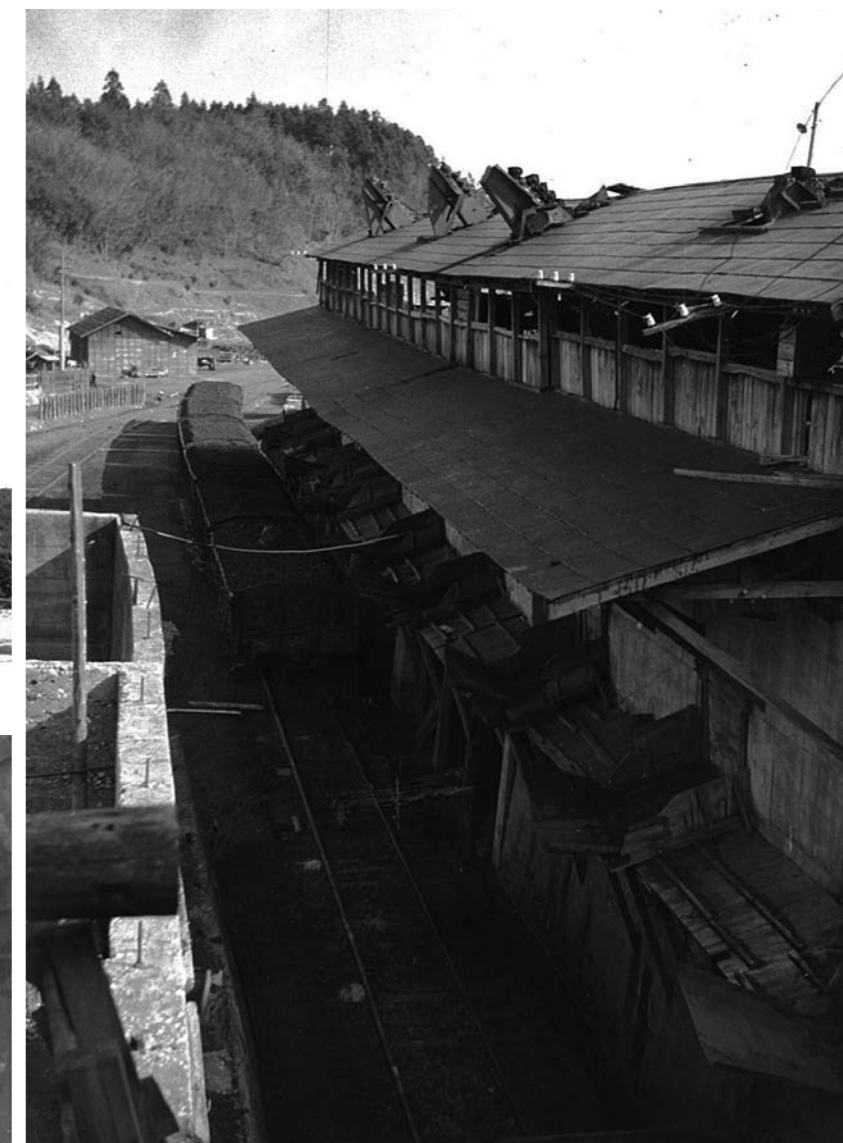
重内炭鉱の選炭機（昭和31年頃）



昭和30年代の中郷炭鉱の選炭と積み出しポケット



石炭の積み込み風景（昭和30年代）



山口炭鉱の選炭機（昭和31年頃）



大津漁港の水揚げ風景 (昭和30年代)



平潟漁港の漁の作業 (昭和34年)



平潟漁港と街並み (昭和40年頃)



水揚げされた魚が並ぶ平潟漁港 (昭和40年頃)



昭和30年代の大津漁港の風景



昭和32年頃の大津漁港全景



チリ地震津波の影響で潮が引いた平潟漁港 (昭和35年)



磯原駅前広場（現東口）の盆踊り大会
（昭和33年）



市内一周駅伝で中郷の青年が優勝（昭和32年）

暮れ市でにぎわう磯原駅前通り（昭和30年代）



17年ぶりに開催された御船祭（昭和32年）



産業人対抗サイクルロードレースが天津町発着で開催された（昭和32年）



自衛隊音楽隊が大津町をパレード (昭和34年)



市内を巡回していた検診車 (昭和37年)



磯原一円で行われたネズミ取り (昭和32年)



磯原駅前をパレードする警察音楽隊 (昭和32年)



大北川沿いの国道6号で行われた出初め式 (昭和34年)



産業振興のため物産品評会が開かれていた (昭和35年)



赤ちゃんコンクールが開かれ、受賞者が記念撮影 (昭和38年頃)



中郷第一小学校の給食風景 (昭和40年)



空から見た中妻小学校全景 (昭和30年代)



富士ヶ丘小学校の運動会 (昭和30年代)



関本中学校の授業風景 (昭和38年)



華川中学校運動会で演技を披露する生徒 (昭和32年)



関南小学校の修学旅行 (昭和39年)



中郷第一小学校の修学旅行 (昭和36年)



水辺で遊ぶ子どもたち (昭和37年)



町内の草刈りをする子どもたち (昭和30年代)



中郷町の晴々荘プールで水泳の授業をする中郷第一小学校の児童たち。晴々荘、偕山荘は常磐炭鉱の保養所だった (昭和33年頃)



子どもたちが水遊びを楽しむ関本町の偕山荘プール (昭和36年頃)



遊具を備えた滝分小公園が磯原町本町の市庁舎わきに完成 (昭和37年)



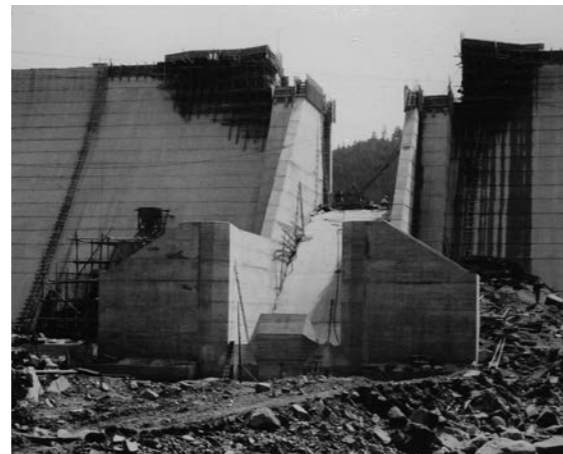
常磐線の高萩一平間が電化される (昭和38年)



昭和40年頃の常磐線大津港駅(上)と磯原駅



工事が進む現在の国道6号平潟トンネル (昭和35年)



建設工事が進む水沼ダム (昭和38年)



昭和40年頃の磯原。大北川沿いに常磐線、国道6号が走る

昭和31年	3月	磯原町、大津町、平潟町、関南村、関本村、南中郷村の6町村が合併し市制施行
	5月	市長選挙執行、初代市長に片寄富七氏就任
	8月	北茨城市章が決定する
	10月	市制施行記念合併祝賀式
昭和32年	1月	映画「雨情物語」撮影開始。主演は森繁久彌氏
	3月	市制施行後初の市議会議員選挙実施。当時は6選挙区（華川以外）定員36人
	5月	大津町の御船祭が17年ぶりに開催
	10月	磯原町本町に市役所庁舎が完成
昭和33年	2月	磯原地区商工会が結成される
	9月	水沼へき地診療所が完成
	10月	北茨城市国民健康保険事業が始まる
昭和34年	1月	北茨城市立病院が完成。27日から診療開始
	4月	第1回市長杯争奪野球大会開催
	6月	水戸地方法務局大津出張所が廃止され磯原出張所と統合
昭和35年	1月	中郷町有線放送電話開通
	3月	大津岬灯台が完成
	4月	市長選挙執行、片寄富七氏再選
		国道6号舗装化が二ツ島まで完了
		国道舗装化の記念事業として二ツ島公園が整備され、ブロンズ像が建立される
	7月	北茨城市商工会結成。平潟、大津、関南、関本、磯原の5商工会が一本化
	昭和36年	1月
6月		磯原町に青年研修所開所
昭和37年	1月	華川、磯原、関南、関本有線放送開始
	4月	市役所わきに滝分小公園が完成
	9月	中郷町石岡橋場地区の石岡橋架け替えが完成
	11月	関本町小川地区に電気導入
昭和38年	1月	関本町小川地区が電化される
	6月	常磐線高萩－平間が電化され、上野－平間が全線電化となる
	11月	茨城大学五浦研究所内に天心記念館完成
昭和39年	1月	上水道事業起工式
	4月	市長選挙執行、豊田實氏就任
	11月	関本町平袖地区が電化される
昭和40年	3月	華川浄水場が完成
	12月	磯原工業団地第1期造成工事着手